



## 学習と作業は違うこと

今年もまた暑い夏を予感させる天気が続いています。そんな中で運動会や修学旅行といったイベントもあり、みんなちょっと疲れ気味かもしれません。睡眠と水分補給を心がけ、また自分の体調の変化にも気づけるよう落ち着いて過ごしましょう。

さて、新しい学年になって最初の定期テストが近づいてきました。早めに終わってしまった学校もありますが、ほとんどの中学はちょうど2週間前くらいです。ここで時間をどう使い、何をどのように勉強していくのかで成績も変わってしまいます。例えば、提出用の漢字の書き取りワークを塾の対策補習の時間にやるのはもったいない。すき間の時間をうまく利用しましょう。効率よく早く終わらせたいなと思いながらするのが作業、新たな発見や納得する気持ちをつかまえるのが学習です。学習と作業との区別ができず、ただやみくもに時間をかけることは良い勉強法とは言えません。

「わかる」と「できる」とは違うとよく言われていますが、まずわかるために学習し、その後で定着のための作業をして仕上げというのが本来の道筋です。英単語のスペルなども、1個ずつ手が疲れるまで何回も書いて覚えるのではなく、複数の英単語の発音やスペルの共通点を探す工夫をすればどれもが記憶に残ります。仕上げに練習という作業をしておけば万全。つい先日、今年度の公立高校入試の科目別平均点が発表されましたが、やはり英語で得意グループと苦手グループがはっきり分かれる傾向が続いています。各学年とも年度初めで差がついてしまわないためには単語力は必須です。学校のワークの使い方においても、自分が納得するためにワークの解答を見ることは悪いことではありません。その解答がわからなければ塾で聞いてください。でも提出のためだけの書き写し作業になっていたら、学習にはつながりません。周りの人も「何時間やった?」「何ページ終わらせた?」だけでなく「どんな勉強をどういうふうにしたの?」と声かけをしてあげてください。勉強の質は、学習と作業を自分で区別できることで高まるものですよ!